

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-303807(P2005-303807A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-119110(P2004-119110)

【国際特許分類】

<i>H 04 N</i>	<i>5/915</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/225</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/232</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/907</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>101/00</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>H 04 N</i>	<i>5/91</i>	<i>G</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/225</i>	<i>F</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/232</i>	<i>Z</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/907</i>	<i>B</i>
<i>H 04 N</i>	<i>101:00</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月11日(2007.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影手段と、

この撮影手段で撮影した画像を記録する記録手段と、

上記撮影手段で時間的に連続して撮影する画像の変化量を設定する変化量設定手段と、

上記撮影手段で時間的に連続して撮影される画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出手段と、

この変化量算出手段で得た変化量と上記変化量設定手段で設定した変化量との比較結果により上記撮影手段で撮影された画像の上記記録手段への記録を制御する記録制御手段とを具備したことを特徴とする撮影装置。

【請求項2】

上記撮影手段が時間的に連続して画像を撮影する最低時間間隔を設定する時間間隔設定手段をさらに具備したことを特徴とする請求項1記載の撮影装置。

【請求項3】

時間的に連続して画像を撮影する時間間隔を設定する時間間隔設定手段と、

この時間間隔設定手段で設定した時間間隔にしたがって画像を撮影する撮影手段と、

この撮影手段で撮影した画像を記録する記録手段と、

上記記録手段に記録された時間的に連続した画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出手段と、

上記記録手段の空き容量を算出する残量検出手段と、

この残量検出手段で上記記録手段が所定の空き容量となったことを検出すると、上記変化量算出手段で記録手段に記録された一連の画像中から最も変化量の少ないものを選択し

、削除する削除制御手段と  
を具備したことを特徴とする撮影装置。

【請求項 4】

上記撮影手段で時間的に連続する画像の撮影の終了を設定する終了設定手段をさらに具備したことを特徴とする請求項 3 記載の撮影装置。

【請求項 5】

上記終了設定手段は、上記撮影手段が撮影を開始してから終了するまでの総撮影時間を設定することを特徴とする請求項 4 記載の撮影装置。

【請求項 6】

上記終了設定手段は、上記撮影手段が撮影を開始してから終了するまでの総撮影画像数を設定することを特徴とする請求項 4 記載の撮影装置。

【請求項 7】

画像を撮影して記録する撮影装置での撮影方法であって、  
時間的に連続して撮影する画像の変化量を設定する変化量設定工程と、  
時間的に連続して撮影される画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出工程と、  
この変化量算出工程で得た変化量と上記変化量設定工程で設定した変化量との比較結果により撮影された画像の記録を制御する記録制御工程と  
を有したことを特徴とする撮影方法。

【請求項 8】

画像を撮影して媒体に記録する撮影装置での撮影方法であって、  
時間的に連続して画像を撮影する時間間隔を設定する時間間隔設定工程と、  
この時間間隔設定工程で設定した時間間隔で撮影され、上記媒体に記録された、時間的に連続した画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出工程と、  
上記媒体の空き容量を算出する残量検出工程と、  
この残量検出工程で上記媒体が所定の空き容量となったことを検出すると、上記変化量算出工程で媒体に記録された一連の画像中から最も変化量の少ないものを選択し、削除する削除制御工程と  
を有したことを特徴とする撮影方法。

【請求項 9】

画像を撮影して媒体に記録する撮影装置に内蔵されたコンピュータが実行するプログラムであって、  
時間的に連続して撮影する画像の変化量を設定する変化量設定ステップと、  
時間的に連続して撮影される画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出ステップと、  
この変化量算出ステップで得た変化量と上記変化量設定ステップで設定した変化量との比較結果により撮影された画像の記録を制御する記録制御ステップと  
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 10】

画像を撮影して媒体に記録する撮影装置に内蔵されたコンピュータが実行するプログラムであって、  
時間的に連続して画像を撮影する時間間隔を設定する時間間隔設定ステップと、  
この時間間隔設定ステップで設定した時間間隔で撮影され、上記媒体に記録された、時間的に連続した画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出ステップと、  
上記媒体の空き容量を算出する残量検出ステップと、  
この残量検出ステップで上記媒体が所定の空き容量となったことを検出すると、上記変化量算出ステップで媒体に記録された一連の画像中から最も変化量の少ないものを選択し、削除する削除制御ステップと  
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 11】

上記変化量算出手段で比較するのは、上記記録制御手段で上記記録手段に記録された中

で最新の画像と、撮影手段で撮影された中で最新の画像との比較であることを特徴とする請求項1記載の撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項10記載の発明は、画像を撮影して媒体に記録する撮影装置に内蔵されたコンピュータが実行するプログラムであって、時間的に連続して画像を撮影する時間間隔を設定する時間間隔設定ステップと、この時間間隔設定ステップで設定した時間間隔で撮影され、上記媒体に記録された、時間的に連続した画像を比較し、その変化量を算出する変化量算出ステップと、上記媒体の空き容量を算出する残量検出ステップと、この残量検出ステップで上記媒体が所定の空き容量となったことを検出すると、上記変化量算出ステップで媒体に記録された一連の画像中から最も変化量の少ないものを選択し、削除する削除制御ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。

請求項11記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、上記変化量算出手段で比較するのは、上記記録制御手段で上記記録手段に記録された中で最新の画像と、撮影手段で撮影された中で最新の画像との比較であることを特徴とする。